

(普通科分科会)

岡山県立林野高等学校

ボランティア・社会貢献活動につながる取組

—一年次の枠を越えて学び合う総合的な学習の時間—

岡山県立林野高等学校

本校では、平成11年度より、学校裁量時間やLHR、あるいは放課後や週休日、長期休業中の時間などを使って、生徒が自主的に計画・立案し、一人ひとりが将来の夢を育む取り組みを行っており、この活動を「マイ・ドリーム・プロジェクト（MDP）」と呼んできた。平成15年度からは、「総合的な学習の時間」に位置づけ、生徒一人ひとりの自己の在り方生き方を考える思考・実践すべてを包括する活動と捉え、学年の枠を超えた異年齢集団を基盤にして全校で取り組んでいる。

MDP活動は、今年で12年目となり、その活動内容や研究内容も年々熟成してきており、生徒はもちろん、保護者・地域の方々にも林野高校の取り組みとして認知されており、教科活動、部活動と並んで教育活動の核となる取り組みになっている。特に、平成21年度から3年間、文部科学省の学力向上実践研究推進事業の推進校として、高大接続・中高連携・地域連携を軸に、MDP活動全般にわたるブラッシュアップに取り組んできた。

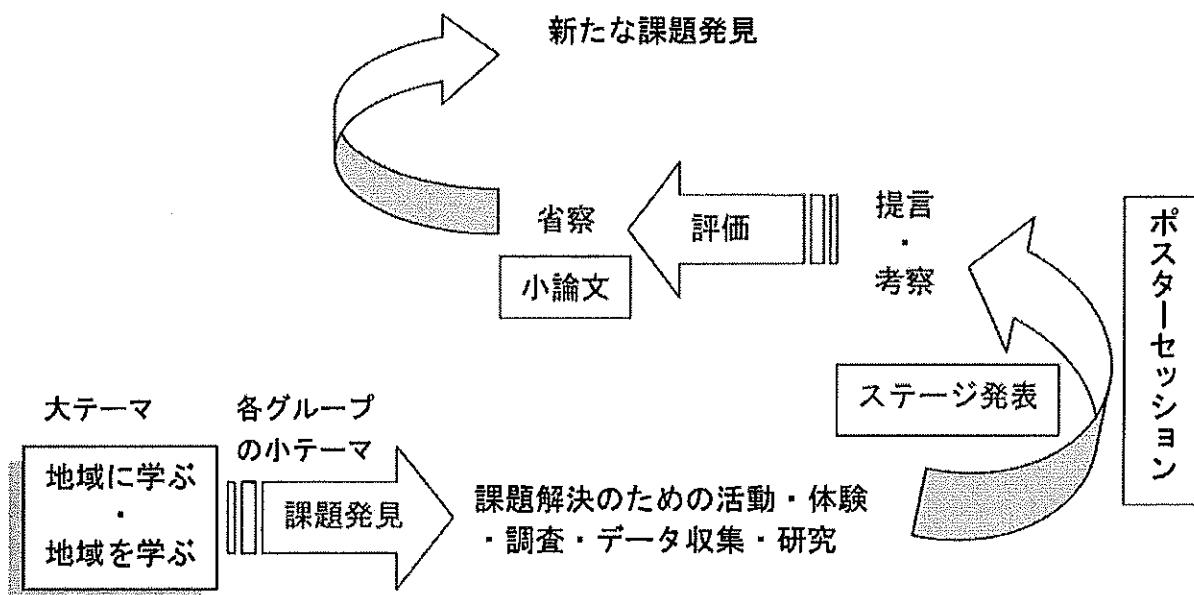
平成23年度は、今後の教育の在り方を展望してMDP活動の在り方を位置づけ、課題解決型学習による「確かな学力」の育成を大きなテーマとし、

- ①「地域」を題材とした課題発見・課題解決型活動
- ②思考力・表現力の向上をめざす活動を推進した。

①については、「地域に学ぶ・地域を学ぶ」ことからスタートして地域の課題を発見し、その課題解決に向けて活動する。そして、その活動を振り返り、考察することで次のステップにつながる新たな課題に気づく、というプラスのスパイラルが確立されつつある。

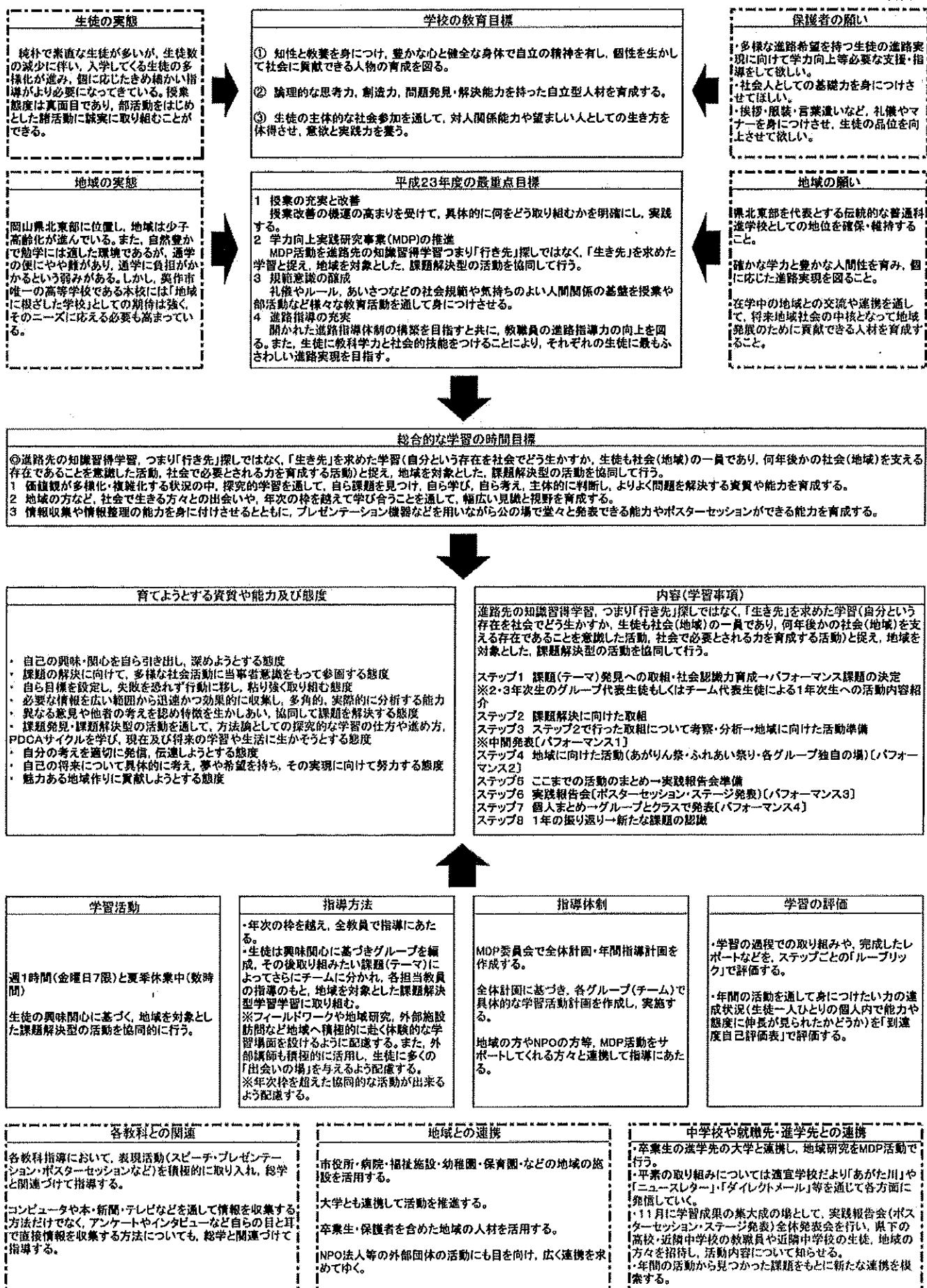
②については、習得した知識の活用の場を生徒に与えることが不可欠と考え、高校生が結び目となって地域連携を目指す「むかし倉敷ふれあい祭り」を実施したり、実践報告会にポスターーションを取り入れたり、生徒に「表現の型」を持たせて「個人まとめ」を書かせたりと、生徒の表現の「場」、活躍できる「場」を増やしている。

平成24年度は、持続可能な社会を創るために教育（ESD）としてのMDP活動を充実させるための調査・研究を進めている。



平成23年度 岡山県立林野高等学校 総合的な学習の時間 全体計画

岡山県立林野高等学校
MDP委員会



平成24年度 「MDP活動到達度自己評価項目」(目指す姿)

MDP活動を通してつけたい力・目指す姿	特に意識して活動するステップ
A. 興味・関心・意欲 <ul style="list-style-type: none"> ①MDP活動と自分の進路を結びつけて考えている。 ②MDP活動と自分の興味・関心を結びつけて考えている。 ③MDP活動をすることは、学習意欲の向上につながっている。 ④MDP活動が自分の将来に役立つ活動になっている。 	
B. 前に踏み出す力 <ul style="list-style-type: none"> ⑤指示を待つのではなく、自らやるべき事を見つけて積極的に取り組む力 （主体性） ⑥「やろう」と他者に呼びかけ、目的に向かって周囲の人々に働きかける （働きかけ力） ⑦言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む力 （実行力） 	ステップ1～4
C. 考え抜く力 <ul style="list-style-type: none"> ⑧現状を分析し、目的や課題を明らかにする力 （課題発見力） ⑨課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする力 （計画力） ⑩既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考えようとする力 （創造力） 	ステップ1・4 ステップ2
D. チームで働く力 <ul style="list-style-type: none"> ⑪自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらえるように的確に伝える努力をする力 （発信力・コミュニケーション力） ⑫相手の話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問するなど、相手の意見を丁寧に聞く力 （傾聴力・コミュニケーション力） ⑬自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、理解する力 （柔軟性） ⑭チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する力 （情報把握力） ⑮状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する力 （規律性） ⑯ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する力 （ストレスコントロール力） 	ステップ4 ステップ1・3 ステップ2
E. 学びの姿勢作り <ul style="list-style-type: none"> ⑰インターネットや図書館などで必要な資料を検索する力 （情報収集力） ⑱情報収集したい相手とアポイントメントを取り、インタビューして必要な情報を得る力 （対話力・交渉力） ⑲活動の道筋（ロードマップ）を作り、計画的に準備を進める力 （推進力） ⑳学年を超えて話し合い、学び合う力 （協同性） ㉑今年度取り組んだ成果から来年度の目標（課題・テーマ）について確認し、必要に応じて、さらに発展的な目標（課題・テーマ）を見つける力 （持続できる学びを創造する力） 	ステップ1 ステップ2 ステップ2・3 ステップ4
F. 地域とのつながり <ul style="list-style-type: none"> ㉒地域の方との交流 ㉓地域についての理解の深まり ㉔地域において、取り組むべき課題を発見する力 ㉕地域の魅力を再発見（地域資源を掘り起こす）する力 	ステップ3 ステップ2 ステップ1
G. 自分の考えを表現する力（小論文・プレゼンテーション・ポスターセッション） <ul style="list-style-type: none"> ㉖MDPの活動を、「問題解決シート」「構想シート」を参考にして課題解決型の報告書をまとめれる力 ㉗自分が活動したことを、他者に分かりやすく伝える力 	ステップ4 ステップ2～4

平成24年度 MDP年間計画

月	回	日(曜日)	ステップ	形 態	内 容
4月 (2)	第1回 (2)	18日(水) 6・7限	1 (2)	グループ(2・3年次生)	課題発見への取組 テーマ(課題)の決定に向け意見を出し合う(KJ法)等 フィールドワークも可 各グループ(チーム)で人間関係作りエクササイズを利用して、チーム編成決定
		18日(水) 6・7限		学年(1年次生)	オリエンテーション(H24年度MDP活動の説明等)は18日4時間目に実施 7限を使用して各グループ見学
5月 (4)	第2回 (2)	9日(水) 6・7限	2 (14)	グループ(全)	ロードマップの作成 (課題解決に向けた手段の決定:デアイ塲・体験学習・宿泊研修・むかし倉敷ふれあい祭)
	第3回 (1)	16日(水) 7限		グループ(全)	デアイ場は各グループ(チーム)で依頼し実現させる。 むかし倉敷ふれあい祭はどのような形で参加できるかを考える。
	第4回 (1)	30日(水) 7限		グループ(全)	マナー講座 課題解決に向けた取組
	第5回 (3)	8日(水) 5~7限		グループ(全)	デアイ場「地域の達人」講座 各グループの依頼を元に設定。
	第6回 (1)	13日(水) 7限		グループ(全)	課題解決に向けた取組 デアイ場で学んだことのまとめ、振り返り
	第7回 (2)	11日(水) 6・7限		グループ(全)	課題解決に向けた取組 夏季MDP強化週間の活動を意識して
	※	24日(火)~30日(月)		希望者(3年次生)	AO・推薦入試対策講座
	※	24日(火)~30日(月)		希望者(1・2年次生)	社会人基礎力養成講座1
	△	18日~30日までに		3年次生	個人まとめ完成 3年次生の活動はここまで
7・8月 (4)	(4)	夏季MDP強化週間		グループ(1・2年次生)	課題解決に向けた取組 各グループ・チームごとに設定する
9月 (10)	第8回 (1)	12日(水) 7限	3 (10)	グループ(1・2年次生)	考察・分析・パフォーマンス準備
	第9回 (2)	19日(水) 6・7限		グループ(1・2年次生)	考察・分析・パフォーマンス準備
	第10回 (2)	26日(水) 6・7限		グループ(1・2年次生)	考察・分析・パフォーマンス準備
		28日(金) 5~7限		グループ(1・2年次生)	むかし倉敷ふれあい祭に向けた準備
	第11回 (5)	29日(土) 5時間			地域に向けたパフォーマンス活動「むかし倉敷ふれあい祭」各グループでの活動
10月 (3)	第12回 (2)	3日(水) 6・7限		グループ(1・2年次生)	むかし倉敷ふれあい祭でのパフォーマンス振り返り 実践報告会の概要説明
	第13回 (1)	31日(水) 6限		グループ(1・2年次生)	活動まとめ・実践報告会に向けた計画…分担・準備
	第14回 (1)	28日(水) 7限		グループ(1・2年次生)	活動まとめ・実践報告会に向けた準備
12月 (5)	第15回 (2)	12日(水) 6・7限	4 (13)	グループ(1・2年次生)	活動まとめ・実践報告会に向けた準備
		18日(火) 放課後		グループ(1・2年次生)	実践報告会会場準備 リハーサル
	第16回 (3)	19日(水) 5~7限		グループ(1・2年次生)	MDP実践報告会 グループ活動
	第17回 (1)	9日(水) 7限		グループ(1・2年次生)	実践報告会の反省
1月 (3)	第18回 (2)	16日(水) 6・7限		グループ(1・2年次生)	課題研究(個人)のレポート(個人まとめ)作成
	LHR	30日(水) 6・7限		クラス	課題研究(個人)のレポート(個人まとめ)をクラス内で発表
	第19回 (1)	13日(火) 7限		クラス	自己到達度評価による振り返り 各グループの来年度のテーマよりチーム選択

平成24年度MDP活動 長期目標とロードマップ(グループ活動の流れ(ステップ1~4に沿った活動))

平成24年度MDPステップ1の活動評価

ステップ	ループリック(評価指標)			MDP活動到達度自己評価項目で重視する観点	
	5(最も目指す姿)	4	3		
1 (ハ)フォーマンス課題の決定	①MDPを自らの関心と地域を的確につけた目標を設定している。 ②インターネットや書物等、資料を参考にしながら、地域を正確に理解している。	①MDPを自らの関心と地域を結びつけた目標を設定しようとしている。 ②インターネットや書物等、資料を参考にしながら、地域を知ろうとしている。	①MDPを自らの関心と地域を結びつけた目標を設定しようとはしていない。 ②地域を知ろうとはしている。	①MDPを自らの関心と地域を結びつけた目標を設定していない。 ②地域を知ろうとはしていない。	
	③フィールドワークや、地域の方に尋ねる等、直に情報や知識を得ている。	③フィールドワークや、地域の方に参考にしながら、地域を理解している。	③地域の情報や知識を得ようとしている。	③地域の情報や知識を得ようとしている。	
	④KJ法において、複数の課題(テーマ)の中から、課題を取り込もうと課題のグループリングに關注している。	④KJ法において、複数の課題(テーマ)の中から、課題を取り込もうと課題のグループリングに關注している。	④複数の課題(テーマ)を見つけることが叶った。	④複数の課題(テーマ)を見つけることが叶った。	
	⑤中期目標に沿った短期目標(ハ)フォーマンス課題)を成立させた。	⑤中期目標に沿った短期目標(ハ)フォーマンス課題)を成立させた。	⑤短期目標(ハ)フォーマンス課題)が成立せなかった。	⑤短期目標(ハ)フォーマンス課題)が成立せなかった。	
				※評価が2もしくは1であったときは、なぜそうなったのかを分析し、評価が3以上になるように改善すること。	

活動日	自己評価	評価した根拠(具体的に記入すること)	顧問確認印
4月18日(水)6・7限	5 - 4 - 3 - 2 - 1		担任確認印

平成24年度MDPステップ2の活動評価

ステップ	5段も目指す姿)	ルーラック(評価指標)				①評価が2もししくは1であったときは、なぜそなつたのかを分析し、評価が3以上に
		3	4	2	1	
2 課題解決に向けた取組(計画)	①平成25年度までの3年間の活動を見直し、他者の意見を参考に活動計画を考えている。 ②課題解決に向けた、最も効果的な活動方法が考えられている。 ③ロードマップ(企画書)に必要事項が的確に書き込まれている。 ④言葉遣い身だしなみなど、人と接するときのマナーを身につけている。 ⑤状況に応じて社会のルールに則った行動がどれている。 ⑥失敗を恐れずに、最後まで粘り強く取り組んでいる。 ⑦失敗しても、ストレスを感じることがあるても、ポジティブに捉え、活動できている。 ⑧課題解決に向けた有効な実践とつなっている。 ⑨チームの中で役割を意識しながら、声をかけ合い積極的に協同して行えている。	①1年間の活動を見直して活動計画を考えている。 ②課題解決に向けて、効果的な活動方法が考えられている。 ③ロードマップ(企画書)に必要事項が書き込まれている。 ④言葉遣い身だしなみなど、人と接するときのマナーを身につけている。 ⑤状況に応じて社会のルールに則った行動がどれている。 ⑥失敗を恐れずに、取り組もうとしている。 ⑦失敗を恐れずに、ストレスを感じることがあると、活動しない。 ⑧失敗しても、ストレスを感じることがあるても、活動しようとしている。 ⑨課題解決に向けた実践としては不十分である。 ⑩チームの中で協同して行おうとしている。	①1年間の活動を見直して活動計画を考えられている。 ②課題解決に向けて、なんらかの活動方法が考えられた。 ③ロードマップ(企画書)が全く書き残されている。 ④ロードマップ(企画書)の半分程度しか書き込めなかった。 ⑤言葉遣い身だしなみなど、人と接するときのマナーを身につけていない。 ⑥状況に応じた行動をとろうとしている。 ⑦状況に応じた行動がどれていなない。 ⑧失敗を恐れずに、取り組もうとしている。 ⑨失敗しても、ストレスを感じることがあると、活動しない。 ⑩チームの中で協同して行おうとしていない。	①活動計画を考えられない。 ②活動方法が考えられない。 ③ロードマップ(企画書)が全く書き込めていない。 ④言葉遣い身だしなみなど、人と接するときのマナーを身につけていない。 ⑤状況に応じた行動がどれていなない。 ⑥失敗を恐れずに、取り組もうとしている。	①活動計画を考えられない。	①活動計画を考えられない。
3 マナー講座	①課題解決に向けた取組(実践) (デアイ場・体験学習・官能検査・講演など)	自己評価	自己評価	自己評価	自己評価	評価した根拠(具体的に記入すること)
5月9日(水)6・7限						
5月16日(水)7限	5 · 4 · 3 · 2 · 1					
5月30日(水)7限	5 · 4 · 3 · 2 · 1					
6月6日(木)5~7限 デアイ場	5 · 4 · 3 · 2 · 1					

平成24年度 デアイ場（6月6日13:00～15:35）各グループ・チーム 実施内容一覧

グループ名	キーワード	中期グループ目標	チーム番号	チーム名	チームの中期目標 (平成26年度)	チームの短期目標 (平成24年度)	講師
1. 外国人の人や文化、社会に関心がある	文化・歴史・語学・国と国の関係・世界平和・世界全体の秩序・外交の政治や法律	美作市の魅力を海外に発信できる人材を育成する。	1	観光地研究	海外からの観光客を増やすための取組や意見を美作市に提案する	美作市を海外に通用する観光地にするために美作市が取り組むべきことを見つける。	美作市商工観光課 有本直紀 小林あかり
			2	海外発信	海外からの観光客が訪れて楽しめるような祭りを開催する。	海外に発信できるような名産品やマスコットを作り出す。	
			3	衣食住研究	黒豆や温泉など美作の良さを伝え、外国の方々と交流できるフェスティバルを開催する。	美作市について知り、海外に発信できるような衣食住を見つける。	
2. コンピュータの世界について詳しく知りたい	IT革命・ハードウェア・ソフトウェア・情報の陰・電子商取引・データの分析・活用方法	ネットスーパーの現状を知り、分析結果を基に、購買側・販売側のメリット・デメリットを調査し、両者の側にメリットになるような提案・発信を行う	4	ネットスーパー	販売・購買側の両方がメリットとなるようにする	ネットスーパーの調査	(株)マルイ ネットスーパー事業 河原康雅
			6	コンビニ	地域色のあるコンビニへの提案	地域のコンビニ調査	
3. 心と脳の不思議を解明したい	人間の行動や心理を科学する・子どもの発達・集団の心理・人と人との関係	他者の様子を冷静に認識し、その様子を分析し、よりよくなるようには提案し、他者がそれに向けて行動できるよう支援できる人材。	6	こども教育心理	心理的ケアと学力向上を伴う“学童保育in林野高”を開設する。	地域のこどもの意識調査・分析・提案	美作大学 教授 渡邊義雄
			7	大衆社会心理	安心・安全のための啓蒙活動を主催し、地域の防犯へ貢献する。	地域社会の意識調査・分析・提案	
			8	心理と行動	林野地域の空き家を利用し、“シャベリバ”を常設し、地域の人々の活性化に貢献する。	大勢の人の心理調査・分析・提案	
4. 福祉で社会の役に立ちたい	福祉サービスの内容や社会環境の整備・法律や行政面から福祉を考える。介護する側・される側の心理・パリアフリーの設計・ユニバーサルデザイン	1. 伝統文化の継承・訪問活動を通じて、地域福祉に参加することで、地域を愛する心や社会性を養う。 2. 福祉関係の体験学習・それまでに考察してきたことを基に、地域福祉の在り方にについて具体的な提案ができる。	9	宮原獅子舞	伝統文化の継承・訪問活動を通じて、地域福祉に参加することで、地域を愛する心や社会性を養う。	伝統文化の継承や訪問活動を通して地域社会への理解を深め社会性を養う。	① 特別養護老人ホーム 日本原庄施設長 高橋秀紀 大崎保育園園長 金崎雅彦 ② 美作市高齢者福祉課 課長補佐 菊池澄江
			10	介護（士）	福祉施設の体験学習・それまでに考察してきたことをもとに、地域福祉の在り方について具体的な提案ができる。	高齢者福祉施設の体験学習を通じて福祉サービス利用者と福祉の仕事への理解を深める。	
			11	デイサービス	福祉関係の体験学習・それまでに考察してきたことをもとに、地域福祉の在り方について具体的な提案ができる。	高齢者の福祉関係の体験学習をして、福祉サービス利用者と福祉の仕事への理解を深める。	
			12	看護リハビリ	福祉関係の体験学習・それまでに考察してきたことをもとに、地域福祉の在り方について具体的な提案ができる。	看護・リハビリ関係の体験学習を通じて社会福祉への理解を求める。	
			13	麦の会作業所	福祉関係の体験学習・それまでに考察してきたことをもとに、地域福祉の在り方について具体的な提案ができる。	福祉関係の体験学習を通じて、福祉サービス利用者と福祉の仕事への理解を深める。	
5. ものや芸術を創造することに関心がある	芸術・クリエーター・デザイナー・都市計画・舞台映画・理美容・服飾	地域の伝統工芸、美術を取り入れつつ、自分たちのオリジナル作品を生み出せる人材を育成する。	14	ものづくり	オリジナル作品を生み出す	体験・地域のものづくりを知る	美作地域おこし協力隊 井筒耕平 藤井裕也
			15	MUSIC	地域の伝統工芸・美術を取り入れつつ、自分たちのオリジナル作品を生み出せる人材を育成する。	ギター制作工程を知る。作詞・作曲 ライブ演奏	吉田楽器 寺谷彰男
			16	理美容	地域の伝統工芸・美術を取り入れつつ、自分たちのオリジナル作品を生み出せる人材を育成する。	美容について知る。積極的に活動する。	

平成24年度 デアイ場（6月6日13:00～15:35）各グループ・チーム 実施内容一覧

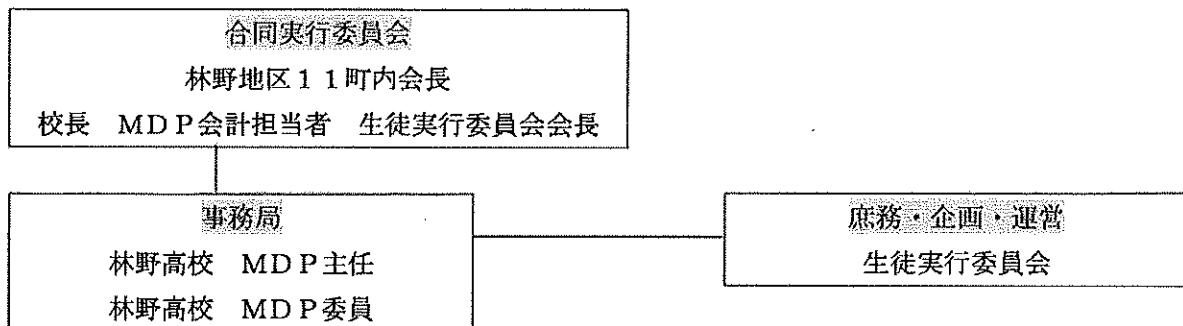
グループ名	キーワード	中期グループ目標	チーム番号	チーム名	チームの中期目標 (平成26年度)	チームの短期目標 (平成24年度)	講師
6. 文化や歴史の謎に迫りたい	考古学・歴史・世界の文化・日本の文化・文学・国と国の関係	歴史・文学の研究を美作地域の活性化につなげることのできる人材	17	文学	県内の美術館・博物館に声をかけ、林野地域に誘致し、常設化する。	林野地域の空き家などを利用して、県内の美術館を誘致する。	オリエント美術館
			18	文化・歴史	美作の歴史についての動画を作成し、みまチャンネルで放送する。	美作の歴史を掘り下げる。	観光プランティア 中川正彦
7. 人体の仕組みや健康について関心がある	病気の治療と予防・スポーツと健康・栄養管理・高齢化社会・介護	健康な体、健康新生活を作り、地域の活動を支えることができる人材を育成する。	19	医療	地域医療の問題を解決する方法を地域に広め「健康な市」を作るための提案をする	地域医療の実態を知り、問題解決の方法を考える。	医療法人三水会 田尻病院 教育主任(看護師)遠藤浜子 総務課長 河本幸三
			20	体力・健康	美作市民・湯郷ベル・小中学校と林野高校が行う運動大会を提案する。	小中学生とのスポーツを通じた交流	
			21	食物・栄養	健康な体づくりのための料理レシピ本を作成し、美作の各家庭で活用していただく方法を美作市に提案する。	コンビニエンスストアで販売できる特産品を使った弁当(黒豆つくねなど)を考える。	
8. 日本の社会の仕組みを考えたい	司法・行政・立法・日本経済の立て直し・現代社会の問題・家族の在り方・女性の社会進出	地域の現状を分析し、幅広い世代の人々が定住したり、通学・通勤したり、訪れたくなる街にするための提案する力を育成する。	22	行政・公務員	地域の行政上の課題について研究し、解決策を実際に自治体に提案し、問題解決能力を身に付ける。	地域の行政上の課題について調査し、その解決策を模索し、改善のための立案を行う力を養う。	美作市役所 北村亮津山警察署東津山交番 田口哲也 美作市消防本部
			23	むかし倉敷ふれあい祭	むかし倉敷ふれあい祭りを地域だけでなく、他からも観光客を呼び込めるものにし、企画力や地域の人々を結びつける力を美作市の魅力について研究し、観光甲子園に応募して全国大会でグランプリの獲得をめざ、地域の各種資源を活用し、観光	むかし倉敷ふれあい祭りをさらに活性化させ、地域の人との連携を深め、継続的な行事にし、地域活性化について着目する力を養う。	
			24	地域の魅力研究	新たな地域の特産物を作り出し、経営の成り立つ企業を創設する提案を行、将来起業する力を身に付ける。	美作市の魅力について研究し、観光甲子園に応募して全国大会の出場をめざ、地域の特色と観光資源化する力を養う。	
			25	起業研究	新たな地域の特産物を作り出し、経営の成り立つ企業を創設する提案を行、将来起業する力を身に付ける。	地域の特産物を活かした起業の可能性について研究し、実際に販売活動を行い、将来起業するには何が必要かを知る。	①・②なし ③井筒耕平 藤井裕也
			26		上山に遊具のある施設を作る。	上山に遊具を作るための計画と準備をする(人探しなど)	
9. よりよい教育について考えたい	子どもをめぐる問題・学級崩壊・不登校・いじめ・教育改善・新しい教育の方向・開かれた学校	“遊び”を教えられる人材を育成する。	27		自分たちが教えた子供たちが次の子供たちに教えられるようにする	“遊び”を考える	
			28		幼稚園に、小学校に向けて発達した遊びを楽しく分かりやすく教えられる人材になっている。	幼稚園に訪問し、用事がどんな遊びをしているか調べ、体験する。	
			29	自然のものを使って新しい遊びを考える	自然のものを使ったおもちゃを作り、教えられるようになる。	木のおもちゃについて知る	
			30	体を使った簡単な遊び	体を使った簡単な遊びと一緒に体験しながら教えられる人材になる。	どんな遊びをしているか知る。	
			31	環境	あがた川を科学的に分析して、改善方法を提案し、実行する。	あがた川がどのくらい綺麗か調べる。なぜ生物が減少しているのか調べる。	岡山理科大学 理学部基礎理学科 山口一裕
10. 自然の不思議や環境問題に 관심がある	自然界の法則・最新科学技術・物理・科学・生物・地学・数学・農業・水産・畜産・環境問題・開発と保護	「ふるさと」に対して、科学的分析ができる、その活用方法の提案ができる人材の育成。	32	自然	地域に適した発電方法の提案し、それを実現できるように地域を動かす。	地域の特性を調べ、地域に適した発電方法を考える。	中部大学客員教授 福田良輔

むかし倉敷ふれあい祭り合同実行委員会記録

実行委員会名	実施日	実施場所	参加人員	実施内容
第1回 合同実行委員会	H23.7.21	町並保存館 「蔵」	28名 各町内会長・市役所 商工会・青年会議所 勝間田高校・地域有志 林野高校同窓会・P T A 林野高校生・教員担当	・「むかし倉敷ふれあい祭り」の概要について ・林野高校の企画案について ・各団体の参加や協同の在り方について
第2回 合同実行委員会	H23.8.4	町並保存館 「蔵」	20名 近隣町内会長 勝間田高校・地域有志 N P O岡山 林野高校同窓会・P T A 林野高校生・教員担当	・各団体や有志との協同の在り方について ・広報について ・第3回合同実行委員会日程
第3回 合同実行委員会	H23.8.23	町並保存館 「蔵」	15名 近隣町内会長 地域有志 N P O岡山 林野高校同窓会・P T A 林野高校生・教員担当	・会場割・時間割について ・広報について
第4回 合同実行委員会	H23.9.20	町並保存館 「蔵」	15名 近隣町内会長 勝間田高校・地域有志 林野高校同窓会・P T A 林野高校生・教員担当	・当日の運営案について ・その他予想される問題点について ・助成金について ・総括会議について
むかし倉敷ふれ あい祭り	H23.10.1	林野商店街	約800人	「林野で楽しもうー高校生と地域がともに創り、ともに楽しむ祭りー」をテーマに、林野高校生が結び目となり、地域の各種団体や有志の方々と協同して、林野商店街地内でお祭りを開催した。
総括会議	H23.12.14	林野高校 会議室	20名 近隣町内会長 勝間田高校・地域有志林 野高校同窓会・P T A 林野高校生・教員担当	・みまちゃんねる放映の「むかし倉敷ふれあい祭り」VTR視聴 ・第1回「むかし倉敷ふれあい祭り」の総括 ・第2回「むかし倉敷ふれあい祭り」について

第2回むかし倉敷ふれあい祭り 開催要項

1. 目的 林野高校のMDP活動の実践や成果を披露し、地域の方との交流の場とする。
2. テーマ 林野を楽しもう～高校生と地域がともに創り、ともに楽しむ祭り～
コンセプト 林野を広げよう～笑顔になる祭り～
3. 日程 平成24年9月29日（土）10：00～15：00 雨天決行
※雨天の場合、屋外で実施するものについては林野高校内で行う
4. 場所 林野商店街一帯
5. 主催・共催等 主催：岡山県立林野高等学校 共催：林野地区11町内会
後援：美作市
6. 内容 MDP活動内容報告・参加型ワークショップ・街角美術館・街角コンサート・
絵本読み聞かせ・模擬店・手作り品販売など
7. 組織 合同実行委員会を立ち上げる。
林野高校は事務局として位置づけ、林野高校内にも生徒実行委員会を立ち上げ、企画・運営・調整等行う。



8. 問い合わせ先 岡山県立林野高等学校 TEL 0868-72-0030 (担当 森田安奈)



あがた川

むかし
倉敷

ふれ
あい
祭り

 My Dream Project

岡山県立林野高等学校

〒707-0046
美作市三倉田58の1
電話 0868(72)0030
FAX 0868(72)3843
E-mail
hayasino@pref.okayama.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.hayasino.okayama-c.ed.jp/>

むかし倉敷ふれあい祭り開催！

テーマ 林野で楽しもうー高校生と地域がともに創り、ともに楽しむ祭りー[※]
 内容 地域のふれあいつながりを楽しむことを目標に、林野高校MDP※が
 結び目となって、地域の各種団体・有志と協同して祭りを実施します。
 ※MDP=総合学習「My Dream Project マイ・ドリーム・プロジェクト」の略称。
 日時 平成23年10月1日(土)10:00~15:00(小雨決行、雨天順延)

●メイン会場(マップ① 町並保存館「蔵」)

「蔵」駐車場	「蔵」
〈イベントタイムスケジュール〉	〈作品展示〉
10:00 開会式・イベント案内	壁新聞(MDP教育)
10:20 林野高校吹奏楽部演奏	美作市プロモーションビデオ(MDP教育)
10:50 ミニコンサート(MDP音楽)	卑弥呼の秘密を探れ(林野高校保健委員会)
11:20 獅子舞 太鼓・篠笛体験(MDP福祉)	地域有志の合同展
11:40 三歩太郎人形劇(MDP教育)	(俳句 短歌 川柳 絵画 書道 その他)
12:00 三歩太郎紙芝居(MDP教育)	創作生け花 テーマ「林野のまちを生ける」
12:20 ふるさとクイズ(MDP教育)	
13:00 フラダンス(フラダンス美作)	〈食のテント〉
13:30 獅子舞 太鼓・篠笛体験(MDP福祉)	焼きそば・焼き鳥・飲み物
14:00 勝央金時太鼓 太鼓体験	
14:30 林野高校琴部演奏	〈むかし遊びコーナー〉もあるよ(^_^)
15:00 閉会式	

●林野公民館及びその周辺(マップ②・③・④・⑤・⑥・⑦)

マップ③ お茶室……立礼による呈茶(随時)とお茶室での呈茶(11:00~・13:00~)

マップ②・④・⑤・⑥・⑦

〈イベント〉 バレーンアートとマジックショー(竹内誠二氏)(10:30~11:30)

〈自家発電システム体験〉(MDP自然)

〈食のテント〉

黒豆つくね	特產品メニュー!
おからコロッケ	
獅子奮迅カレー	(MDP栄養)
多国籍料理 (MDP国際)	
ポテトフライ(MDP芸術)、綿菓子(MDP社会)	
たこ焼き、かき氷、飲み物	

〈ふれあいマーケット〉

フェアトレード商品販売
協賛・勝間田高校のお店
オープンカフェ
ボラリスの会
こども縁日
駄菓子屋

マップ⑧ 林野公民館

〈染色ワークショップ〉 駅東創庫の北野静樹氏(10:00~・13:00~)(各回20人程度)

★ステキな型染めのハンカチ、エコバッグを創ってみませんか?

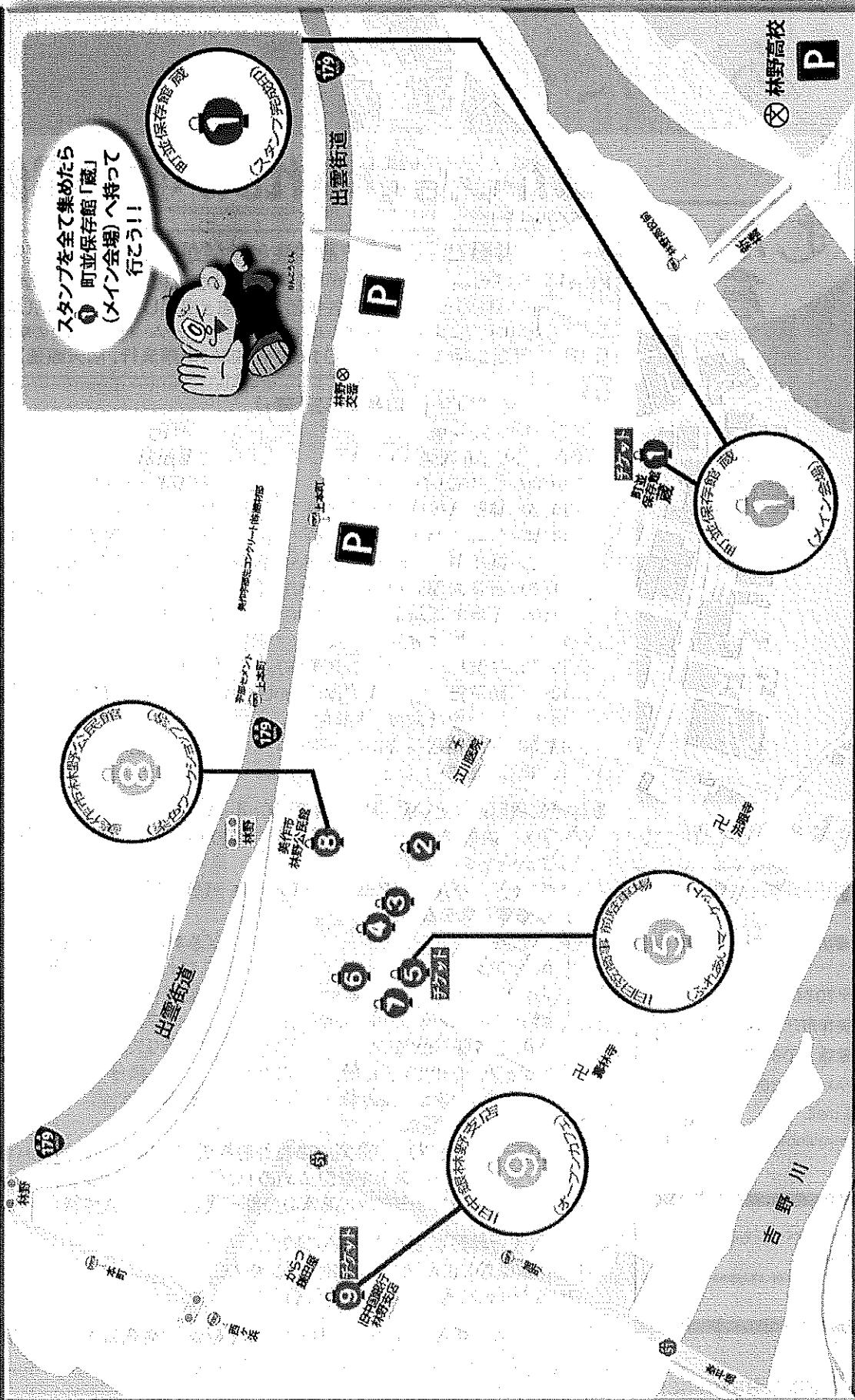
〈フラダンス教室〉 フラダンス美作の公開練習、フラダンス体験(13:30~15:00)

●旧中国銀行林野支店付近 マップ⑨

「美作倉敷懲しまん会」によるオープンカフェ

ワークショップ、絵画展(竹久夢二関連)

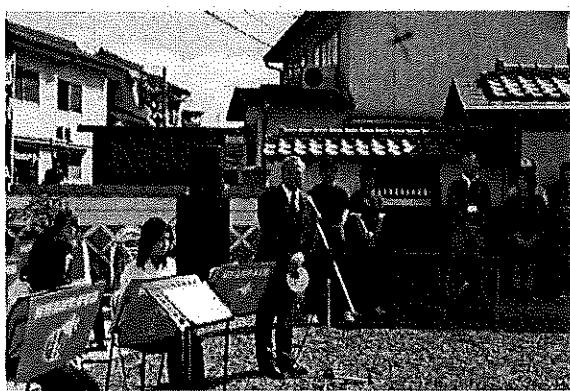
●●スタンプラリーで「まちあるき」も楽しもう！！●●



総合学習：テーマ「地域の課題を考える」実践事例

◆ 「むかし倉敷ふれあい祭り」：林野地区が、昔、高瀬舟往来の要衝の地として蔵屋敷が建ち並んでいたことから、大正時代まで「倉敷」と呼ばれていたことを偲び、その賑わいを再生する思いを込めて名付け、総合学習のグループを母体にして林野高校生が中心となり、地域の方々や、勝間田高校、林野高校 PTA、OB・OG に呼び掛けて企画・運営した祭り。

10月1日（土）



美作市皆木副市長の挨拶



勝間田高校の協賛出店



教育庁指導課赤松総括副参事ほか来訪



地域の方の出店



地域の伝統芸能を習って慰問等で活躍する福祉グループ

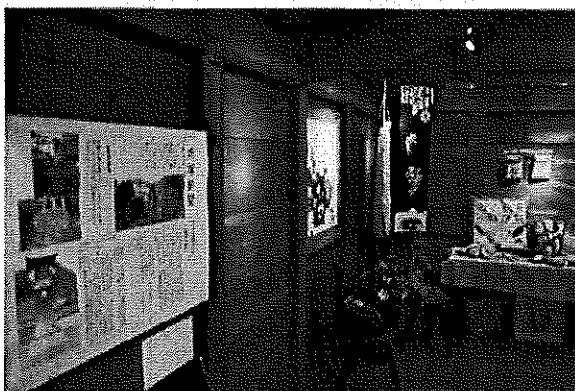




地域の方のフラダンス演技



林野高校保健員会展示



手前は教育グループによる地域新聞



栄養グループによる地産の黒豆加工品



勝央の金時太鼓一般試打



教育グループによる地元民話の紙芝居

◆生徒アンケート（抜粋）

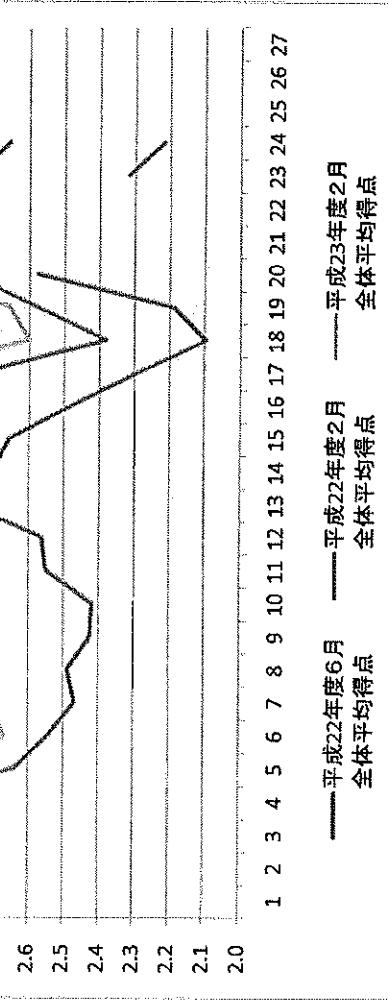
- *商店街の方が祭りのお陰で活気づいてとても良かったと言ってくださったので、来年も開催できるといなと思いました。(高3女子)
- *地域の方に来ていただき、共に楽しめたので、とても良かったと思う。(高3男子)
- *普段登校で通っている場所だけど、新しい発見がたくさんあって良かった。(高3女子)
- *一般の方がいることで、高校生が張り切っていたのが良かった。(高2男子)
- *思っていた以上にたくさん的人がふれあい祭りに参加していてとても盛り上がった。(高2女子)
- *自分の役目は結構大変だったけれど、地域の方々とふれあうことができ、とても良い経験になりました。来年もぜひ参加したいと思います。(高2女子)

MDP活動到達度 自己評価 集計結果

A 興味・関心・態度	B 前に踏み出す力	C 考え方	D チームで働く力	E 学びの姿勢作り								F 地域とのつながり				G 表現力 分かりやすく 伝える力		
				10	9	8	7	6	5	4	3	2	11	12	13	14	15	
進路との結びつき	将来に役立つ活動かつながり向上	主体性	創造力	柔軟性	コミュニケーション力	情報収集力	持続できる学び	地域との交流	地域理解についての見解	地域の課題発見	地域再発見	報告書						
平成22年度6月	3.1	3.2	2.8	3.0	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.6	2.8	2.7	2.7	2.5	2.3	2.1	2.2	
全体平均得点	3.2	3.3	3.0	3.2	2.8	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.7	2.6	
平成22年度2月	3.0	3.2	2.9	3.1	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	
全体平均得点	3.0	3.2	2.9	3.1	2.8	2.7	2.7	3.0	2.8	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	
平成23年度2月	3.0	3.2	2.9	3.1	2.8	2.7	2.7	3.0	2.8	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	
全体平均得点	3.0	3.2	2.9	3.1	2.8	2.7	2.7	3.0	2.8	2.8	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	

3.4

※1 回答方法について それぞれの質問項目に対し、次の4段階で評価している。
4・・・よく当たる 3・・・当てはまる 2・・・あまり当たるまらない 1・・・まったく当たるまらない



平成22年度6月 平成22年度2月
全体平均得点 全体平均得点

※2 平成22年度の空欄項目について
項目21・22・25は平成23年度に新たに加わった項目
平成22年度6月実施の項目26・27については未実施